

Plan(企画) 基本情報

事業コード	117	担当課	総務課	会計区分	一般会計	基本計画	大項目	開かれた行財政の推進
事業名	公会堂整備事業					中項目	ともに考え責任を分かち合う意識づくり	
						小項目	町民参画の推進	
						細目	活動環境の整備	
事業年度	開始年度 終了予定	平成 6 年度 未定 年度	運営方法	補助	必需性	中間	市場性	非市場的
根拠法令・条例等	聖籠町集会用施設建設経費補助金交付要綱				対象 (誰、何を)	地域活動の拠点となる集会用施設		
意図 (どのような状態にしたいのか)	地域活動の拠点である公会堂を整備することにより、コミュニティ活動の活性化、自発的な地域づくりの気運を高め、集落を協働の一翼を担う組織に導く。							
事業の目的を 実現するための 具体的内容 (事実関係等 を含む)	集会用施設を建築・改修する集落に対して建築に要する部分に対する補助を行う。 【補助率】※限度額なし ・新築:1/2 ・改修:3/4 ・設備の新設・取替:1/2または3/4(築年数による) ・設計監理委託:1/2							

Do(実施) 事業推移

		年度別事業費(千円)											
		事業費項目	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度				
I 事業費の推移	直接事業費	公会堂改修工事補助金	3,039	7,892	5,091	4,367	3,400	3,400	3,400				
		計	3,039	7,892	5,091	4,367	3,400	3,400	3,400				
		財源内訳	国庫支出										
			県支出金										
			地方債										
			その他	ふるさと応援基金繰入金	260	1,260	1,224	1,128	1,400	1,500	1,500		
			一般財源	2,779	6,632	3,867	3,239	2,000	1,900	1,900			
		受益者の状況	受益者(件)数	補助集落世帯数	単位	世帯	911	664	807	1165	860	860	860
			受益者1人(件)に必要なコスト(一般財源/受益者)		単位:円		3,050	9,988	4,792	2,780	2,326	2,209	2,209
			町民1人当たりが負担するコスト(一般財源/総人口)		単位:円		194	464	272	228	140	133	133

指標の種類	指標と算定式	単位	平成29年度			平成30年度			令和元年度			当年度	3年度	4年度	5年度
			計画	実績	評価	計画	実績	評価	計画	実績	評価	計画	計画	計画	計画
II 活動指標 何をどれだけ実施した(するか)	指標名① 補助件数	件	4	4	A	4	5	A	3	3	A	8	5	5	5
	算定式											0	0	0	0
II 成果指標 どのような成果(効果)が出た(でるか)	指標名① 補助金交付対応率	%	100	100	A	100	83	B	100	100	A	100	100	100	100
	算定式 補助件数/要望件数														
	指標名②											0	0	0	0

成果の特記事項	当初予定していた3件について補助を実施した。
課題の特記事項	各施設の老朽化が進み改修工事が増えており、町財政への負担が大きくなっている。また他市町村と比較して高い補助率が設定されていることから、補助率等の見直しが必要。

他団体事例	新潟市	【建設】補助率1/2。上限8,000千円(500世帯以上かつ250㎡以上の大規模自治会については12,000千円)。 【修繕】補助率1/3。下限300千円、上限1,000千円。
	新発田市	補助率1/2。上限4,000千円。 ただし、2回目以降の交付の場合は、前回の交付を受けてから概ね10年以上経過したもの、又は上下水道等への接続工事及びバリアフリー化工事に該当するものとする。
	田上町	補助率1/2。整備費100千円以上のもの。

Check(評価) (評価年度実績)

費用対効果	得点	2	説明	地域活動の拠点としての公会堂を整備することは、コミュニティ活動の活性化につながり効果が高く、また前年度に要望を照会・申請することで計画的に実施している。しかしながら、各施設の老朽化による改修工事が多く、町財政への負担が大きくなっている。
妥当性	得点	1	説明	他市町村と比較し補助率が高く、上限設定もないため、補助率等の見直しが必要。
受益者負担	得点	2	説明	公会堂は各集落の設備であり、現在も集落に負担を求めている。補助率等を見直した場合、特に小規模集落への負担が大きくなることが想定されるため、1世帯あたりの経費負担額に応じた特別加算補助の条件を緩和する等、負担軽減策も同時に検討する必要がある。
政策的優先度	得点	3	説明	集落の自己資金のみでは負担が大きく、「地域活動の拠点」という公会堂の性質からも維持管理への補助は町として不可欠である。
社会情勢適合性	得点	3	説明	老朽化による改修工事が多く、1件あたりの工事費用も高額であるため、町民ニーズは高い。
総合評価	得点	11	説明	(得点の凡例) 【3】: 視点を十分に満たしていて、見直す必要がない。 【2】: 視点を概ね満たしているが、改善の余地がある。 【1】: 視点を全く(ほとんど)満たしておらず、改善が必要。

Action(見直し) (次年度以降に向けて)

担当課 所見	改革の 方向性	改善(手段 の変更)	理由	施設の老朽化による改修工事が多く、町財政への負担が大きくなっている。また他市町村と比較し補助率が高く、上限設定もないことから、補助率等の見直しを行う。令和2年度に各集落へ見直し案を周知し、令和3年度から新補助率適用予定。しかしながら、補助率等を見直した場合、特に小規模集落への負担が大きくなることが想定されるため、1世帯あたりの経費負担額に応じた特別加算補助の条件を緩和する等、負担軽減策も検討したい。
改革部会 所見	改革の 方向性		理由	